



購入は
こちら!
※ Webike ショッピング
サイトに繋がります。

MIDLAND DRIVING RECORDER × ACTION CAMERA XTC290

インカムのブランドで知られるミッドランドから、バイク用ドライブレコーダーが新登場。フルHD画質で撮影できるのはもちろん、手ごろな価格も注目なのだ。



文—八百山ゆーすけ 写真—山内潤也

1万円台半ばでドラレコに手が届く!

**操作はとっても簡単
アクションカムにも使える**

最近、ライダーの関心が高まりつつあるドライブレコーダー。たとえ自分が安全運転をしていたとしても降りかかる事故は避けられない。もしも残せる点が注目されているのだ。

そんなドラレコの新製品がミッドランドから登場する。同ブランドはバイク用のインカムでおなじみだが、実は本国イタリアではアクションカムのメーカーとしても知られている。その技術を生かして生まれたのが「XTC290」だ。

望遠鏡スタイルのシンプルなデザインが特徴で、ソニー製200万画素のセンサーによってフルHD画質の映像を記録できる。電源は付属のUSBケーブルで常時供給できるほか、内蔵バッテリーでカメラ単独でも最大2時間の撮影が可能。本体はアルミ合金製でIP65準拠の防塵防水性能を備え、少々の雨の中でも安心して使える仕様となっている。

操作はとってもシンプル。上面の電源ボタンをオンにして、もう一度押せば録画が始まる。さらにUSBケーブルを使ってバイクから電源を取ってれば、キー操作に連動してドライブレコ録画を開始できる（アクションカムは要手動操作）。

さらに本体上面後部の「スクリーンショット」ボタンが面白い。録画中にボタンを押すだけで、その瞬間の写真を撮ることが可能。撮影した動画からPCなどを使い、後でキャプチャを取ったりしなくても、「あつ!」と思ったシーンをその場で写真として残すことができるわけだ。

また、XTC290はイタリア生



↑キットにはカメラ本体のほか、ハンドル取り付け用、身体装着用、貼り付け用の各種マウントを同梱。常時録画用の防水USB充電ケーブルも付属する。

ミッドランド ドライブレコーダー× アクションカメラ XTC290



税込価格：1万4580円
録画サイズ：最大1080P (Full HD)
レンズ：200万画素 画角：120度
発売：10月上旬

LINKS ☎ 075-708-2362
<http://www.midlandradio.jp/>

まれながら、日本市場のニーズに合わせた、日本仕様」となっている。例えば電力周波数とフレームレートが同期して、点灯する信号が写らなくなる現象を防ぐために、一般的な動画とは異なるフレームレートを採用。さらに電源ケーブルはバッテリーに繋ぐのではなく、接続が簡単なUSBコネクタ式とするなど、日本のユーザーの使い勝手を考え抜いた仕様とされているのだ。

そして、1万円台半ばという価格も大きな魅力。実用的な機能に絞ったシンプルさで価格を抑えつつ、バイクから外してアクションカムとして使える一台二役の使い勝手も併せ持つなど、ドラレコ初心者にもオススメの一台だ。

金属製ボディにフルHDの高画質



車体電源から常時給電可能

→防水 USB 充電ケーブルを取り付けると、モバイルバッテリーやバイクから常時給電が可能。ケーブルに通電すると同時に自動的に録画が始まる。

スクリーンショット

電源



←↑セミグロスブラックの本体は、重厚感あるアルミニウム製でモノとしての魅力たっぷり。カメラの撮像素子には200万画素のソニー製IMX323 CMOSセンサーを採用。レンズは120°の画角があり、広範囲を写し撮ることが可能だ。録画中でもワンタッチで静止画を撮影できる「スクリーンショットボタン」もXTC290の特徴。

ドラレコ⇔カメラはスイッチ切り替え可



←リヤカバー内にはドラレコとアクションカメラの切り替えスイッチがあり、手軽に切り替え可能。マイクロSDスロットとUSB端子、記録画質切り替えのスイッチもここに並ぶ。

防水対策も万全



←↑本体は雨天走行程度なら問題のない防水性を備えるが、別売の防水ケース（上。税込2700円）を使えば水深10mまで潜ることも可能。

腕に！



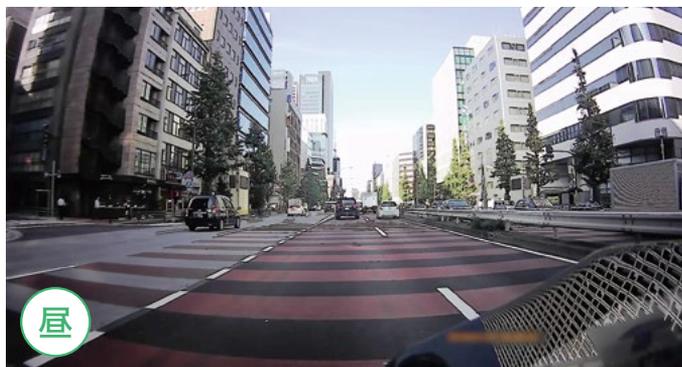
車体に！



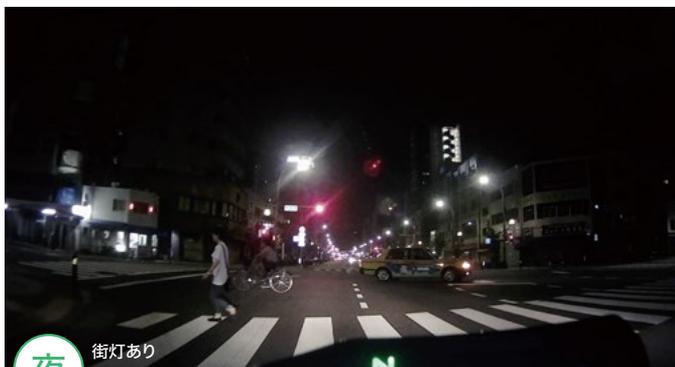
装着方法は色々選べる

←カメラはハンドルバーなどに取り付けられるほか、両面テープマウントでヘルメットに貼ったり、マジックテープマウントを腕に巻き付けて取り付ける、といった使い方ができる。

ヘルメットに



昼



夜

街灯あり
街灯なし



トンネル

【画質CHECK】

モノの輪郭を強調したコントラスト強めの映像

全体的にハイライトとシャドウのコントラストが強めで、モノの輪郭を縁取ったように強調した描写が特徴。明部と暗部の明るさの差が見た目以上に大きく、真っ暗

な田舎道のような場所ではその傾向が顕著だといえる。一方、トンネルのように全体に光が回っている場所であれば、画面全体を明るめに映し出してくれる。